

平成29年2月

袋井市議会定例会

一般質問通告内容

インターネットで本会議の中継（録画）放送を行っています。  
Yahoo! や Google などの検索画面から  
**袋井市議会**を検索して、御覧ください。

傍聴者の皆様へ

携帯電話はマナーモードへの切り替えをお願いいたします。

袋井市議会

# 一般質問通告議員

2月28日(火) 午前

質問順序	質問形式				ページ
1番	一問一答	戸塚 哲夫	議員	……	1
2番	一括	兼子 春治	議員	……	2
3番	一括	寺井 紗知子	議員	……	4

2月28日(火) 午後

4番	一問一答	伊藤 謙一	議員	……	6
5番	一括	高木 清隆	議員	……	8
6番	一括	廣岡 英一	議員	……	9

3月 1日(水) 午前

7番	一括	鈴木 弘睦	議員	……	11
8番	一括	寺田 守	議員	……	13
9番	一問一答	高橋 美博	議員	……	14

3月 1日(水) 午後

10番	一括	岡本 幹男	議員	……	16
11番	一問一答	大庭 通嘉	議員	……	18

質問順序	1	議席番号	1	質問者	戸塚 哲夫
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>1</b>	<b>耕作放棄地解消対策について</b> 市内の耕作放棄地が261.4ha（H27農業委員会調べ）と5年前より90.6ha増加し、農業経営や生活環境への悪影響も考えられ、早期の解消が求められている。  (1) 耕作放棄地の「見える化」に向けた取り組みについて伺う。  (2) 耕作放棄地解消作物として、「エゴマ」を推奨するが。				市長
<b>2</b>	<b>住宅用火災警報器の作動点検について</b> 住宅用火災警報器の設置が義務付けられたが、県の調査で設置世帯の約4割が作動点検をしていないことが分かった。未設置世帯への働き掛けを更に強化するとともに、設置済み世帯にも点検実施の徹底をしていくことが重要と考える。  (1) 住宅用火災警報器の設置率は。  (2) 作動点検の実施状況は把握しているか。  (3) 住宅用火災警報器の設置促進と作動点検の推進を、今後どう取り組んでいくか。				市長
<b>3</b>	<b>無電柱化への取り組みについて</b> 安全の確保と良好な景観形成を目指し、道端に立つ電柱を撤去して、電線の地下埋設を進めるための「無電柱化推進法」が施行された。  (1) 無電柱化への今までの取り組み状況は。  (2) 無電柱化推進法が施行されたが、今後の市の考え方は。				市長

質問順序	2	議席番号	9	質問者	兼子 春治
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	<p><b>活力あるまちづくりについて</b></p> <p>本市は、東名高速道路の開通を機に積極的に企業誘致を進め、中東遠の中軸都市として栄えてきた。過去、製造品出荷額も隣接市を上回る勢いであったが、近年では少し勢いが見られない。本市は、森町を控え懐も深く、まだまだ発展の可能性があり、内陸フロンティア・地方創生事業により中東遠の中軸都市を目指すべきと考える。</p> <p>(1) 本市の隣接に新東名森掛川インターが設置された。また、森町にスマートICが設置され、平成32年度には（仮称）新磐田スマートICも供用が開始される予定であるとの報道があった。</p> <p>ア 新東名を本市の発展に活かすために、このような状況をいかに捉えているか。</p> <p>イ 森掛川インターから、人・物・情報を袋井市に呼び込むために中村大日線を北に延ばし、新東名につなげるべきである。また、南へ市道村松上中村線を経由し国道1号へ、もう1路線は馬ヶ谷、三沢、春岡方面へ経由し、東名袋井インターにつなげるべきである。</p> <p>ウ 遠州森町スマートICと（仮称）新磐田スマートICの中間隣接にある三川西山地区開発の考えはいかがか。 （仮称）川会西山線の基本計画は、三川地区企業立地基本構想と整合させることが必要である。</p> <p>(2) 企業立地用地の供給について</p> <p>ア 企業立地調査（土地利用基本計画）の進捗状況は。</p> <p>イ 中小企業向けの工業団地造成の考えはあるか。</p>				市長
2	<p><b>浅羽海岸の活用について</b></p> <p>(1) 海のある自治体として浅羽海岸を活かすべき。</p> <p>ア 旧浅羽町と合併して海のある自治体となったが、市民にその実感がない。浅羽海岸をまちづくりにどのように活かすか。</p> <p>イ 袋井幸浦の丘プロジェクトの交流の場・憩いの場の具体的な考えは。</p>				市長

質問順序	2	議席番号	9	質問者	兼子 春治
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>3</b>	<b>「道の駅」設置について</b> 東海道どまん中を標榜し、交通の要衝に位置する本市に、ドライバーの休憩施設と地域振興施設を併せ持つ「道の駅」の設置要望があり、市として28年度に道の駅可能性調査を行った。  (1) 調査の結果、設置の可能性はどうであったか。  (2) 実施可能の場合、設置に向けてのスケジュールは。  (3) 地域振興施設等について、市としての基本的な考えは。				市長
<b>4</b>	<b>シティプロモーションについて</b> シティプロモーションとして本市の魅力を売り出し、都市ブランド力を高めているが、都市の魅力・特色は、歴史・文化の中にある。  (1) シティプロモーションに歴史・文化の視点を取り入れることが必要ではないか。  (2) 本市の「これが日本一・県下一・袋井一」を募集したら。  (3) 今、空前の城ブームであり、久野城を売り出すことについて。  ア 久野城址高見に望楼状の高見櫓を造ったら。  イ 久野城址南遊水池の修景について  ウ 全国久野姓発祥の地として売り出したら。  (4) 世界の茶の原産地に迫る世界的な資料「松下コレクション」を、袋井市の宝として売り出したら。  (5) 浅羽佐喜太郎・ファンボーイチャウ生誕150年・常林寺記念碑建立100周年について				市長
<b>5</b>	<b>市有地の管理について</b>  (1) 行政財産の適正管理について				市長
<b>6</b>	<b>防災対策について</b>  (1) 水害防止のための村松西排水路樋門の管理について				市長

質問順序	3	議席番号	20	質問者	寺井 紗知子
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>1</b>	<b>高齢者の移動手段</b> 高齢ドライバーによる交通事故が目立つようになり、免許返納への取り組みがされてきている。返納することによる不便さや、もともと交通手段のない高齢者にとっても、交通空白地での移動手段は課題である。  (1) 運転免許証自主返納者への優遇制度  ア タクシー運賃割引制度の導入  イ 運転経歴証明書利活用及び発行手数料助成  (2) 運転経歴証明書のない高齢者への優遇制度				市長
<b>2</b>	<b>負担軽減</b>  (1) 介護保険における「福祉用具購入費及び住宅改修費の支給」について  (2) 児童扶養手当の「まとめ支給」から「毎月支給」への変更は。 ..... (3) 教職員の多忙化の解消				市長    ..... 教育長
<b>3</b>	<b>女性職員の活躍推進</b>  (1) 管理職登用の考え方と促進				市長
<b>4</b>	<b>駅南地区まちづくり事業</b>  (1) 業務代行方式による土地区画整理事業の概要  ア これまでの事業の進め方の反省が、どのように活かされるか。  イ スケジュールの進め方が性急すぎないか。  ウ 現段階における地権者の意向は。  エ 今後、地権者の合意形成をどのように図っていくのか。  オ 業務代行予定者募集要項のポイントは。  カ 地権者から新たな手法の提案がされた場合の対応は。				市長

質問順序	3	議席番号	20	質問者	寺井 紗知子	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
	(2) 治水対策事業				市長	
	ア 新幹線南側における遊水池公園計画の状況					

質問順序	4	議席番号	4	質問者	伊藤 謙一
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>1</b>	<b>日本一健康文化都市について</b> 平成22年に宣言され、昨年は条例化もされた「日本一健康文化都市」である。今後本市が目指すべきまちとして、「心と体の健康」「都市と自然の健康」「地域と社会の健康」の3つの視点から、市民満足度の高いまちづくりを展開していると感じている。本年は改選であり、既に次の選挙にも市長は出馬表明をされていることから、今後目指す本市の将来として日本一健康文化都市を軸としたまちづくりを改めて問う。  (1) 平成28年3月に制定されて一年、改めて日本一健康文化都市条例を制定した効果は。また、現在本市にとって「心と体の健康」「都市と自然の健康」「地域と社会の健康」に関する市民満足度をどのように考えるか。  (2) 日本一健康文化都市を目指す（達成する）一方で、袋井市総合計画があると認識しており、「子育てするなら袋井市」「定住するなら袋井市」「市民力なら袋井市」を挙げて各計画や予算が組まれていると感じるが、その相関性は。また、市民にはどのような周知が考えられるか。  (3) シティプロモーションの一環として、日本一健康文化都市について説明する紙芝居の動画がネット上で公開されているが、事業を行った背景と目的は。また、ほかにも日本一健康文化都市をプロモーションしている事業があるか伺う。  (4) 一貫した日本一健康文化都市を軸としたシティプロモーションと街のブランド化が、シビックプライドを作ると考える。シティプロモーションの今後の方向性を伺う。  (5) 日本一健康文化都市を目指すにあたり、街の人材の育成は急務であり、まずは庁内において若手職員の人材育成は、市にとって重要な投資的経費に今後なると考える。若手による施策の企画会議や、庁内での横断的な新規プロジェクトチームの結成及びそれに当たる職員の公募等を提案し、積極的な自主性・まちづくりに携わる関心を高めていただきたいがどうか。				市長
<b>2</b>	<b>人工知能について</b> 現在、日々の生活や情報媒体の中で人工知能という言葉を見ない日はない。2016年、また2017年はまさに人工知能元年と呼んでも過言ではないほど、様々な技術が身の回りで登場した。一方で、国は総務省が「次世代人工知能推進戦略」を策定し、今後の末期的な我が国の人口減少対策の一つとして挙げており、また併せて文部科学省では2020年から小学校でのプログラミングの必修化を行うなど、既に行政×ICTの時代は人工知能の登場で新たなステージを迎えることから、今後調査・研究に取り組むことが不可欠だと感じるため、以下を質問する。				市長



質問順序	4	議席番号	4	質問者	伊藤 謙一	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一問一答》	答弁者
<p>(1) 本市は、人工知能に関してどのような認識を現在持っているか。また、人工知能の利活用に関して今後、調査・研究を行っていくか伺う。</p> <p>.....</p> <p>(2) 2020年にプログラミングの学習が小学校で必修科目になり、本市でもプログラミング学習教材「レゴブロック」を市内全ての中学校に配備し、先進的な取り組みを行うと伺っている。プログラミングは今後の人工知能の発展を考える上で必要な学習であるが、その教育する経験や素地が本市にはないのが現状であると個人的に考えるが、どのような目的や学習効果を見込んで取り組んでいくのか。また、現状の考える課題は何か伺う。</p>					市長	教育長

質問順序	5	議席番号	11	質問者	高木 清隆	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
1	<b>自立した地域経済、地域社会の構築に向けて</b> 袋井市が地域経済の縮小、行政サービスの低下を招くことなく、自立した地域経済と持続可能なまちづくりを進める上では、地域の産業関連構造をきちんと把握することが必要。  (1) 袋井市における産業構造、産業関連、地域経済の循環構造を分析、把握することが必要と考えるが。  (2) 地域資源のストック調査が必要と考えるが。				市長	
2	<b>中学校の部活動について</b> 心身共に大きく成長する中学生にとって、部活動は学校教育において有意義な役割を担っていることから、生徒も教員もやりがいを感じ、家族や地域からも応援される部活動にしていくためにも、部活動指導指針の作成が必要。  (1) 部活動の意義・目的について、どう捉えているのか。  (2) 部活動の現状と課題について、どう捉えているのか。  (3) 教育部局としての部活動における活動指針、ガイドラインを策定すべきと考えるが。				教育長	
3	<b>各種大会出場に伴う支援策について</b> 健康文化都市を標榜する本市において、文武両道で頑張っている児童・生徒たちの若き才能を育てる環境を整備するため、支援策の拡充、新たな補助制度の整備検討が必要。  (1) 激励金等、交付対象者の拡充が必要と考えるが。  (2) 交通費・宿泊代等の補助制度の整備が必要と考えるが。  (3) 備品・消耗品購入にも力を入れるべき。				市長	

質問順序	6	議席番号	14	質問者	廣岡 英一
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	<p><b>地方の時代と合併に始まるまちづくり</b></p> <p>「地方の時代」と言われ始めたのは、オイルショック後の昭和50年代であった。平成12年に「地方分権一括法」が施行され、翌年には地方分権と財政再建に向けた「三位一体改革」が始動。合併特例債などの特典が設けられ、平成の市町村合併は一気に進んだ。</p> <p>新袋井市は17年4月に誕生したが、新市のまちづくりは合併協議会が策定した「新市建設計画」から始まる。ここには、合併の必要性が述べられ、「健康な市民が意欲的にまちづくりに参加することで、特性を活かしたまちを生み出していくこと」を基調に、将来像を「健康文化都市」と定めた。また、協議会は合併特例債対象主要事業候補として6事業、広域行政として2事業を挙げた。</p> <p>総合計画は、18年9月、新市建設計画をベースに策定された。将来像は同じで、実現のためには「共生・協働・交流をもって、みんなで人づくりとまちづくりに取り組むことが必要」とし、7つの重点プロジェクトを掲げ、後期基本計画では5つの行政経営方針を示した。なお、計画期間中、袋井市民病院対策、東日本大震災による防災対策、人口減少対策などが新たに浮上した。</p> <p>第2次総合計画は、「市民と行政がともにまちづくりを推進する指針」として27年9月に策定された。将来像は同じで、基本目標には「子育てするなら袋井市、定住するなら袋井市、市民力なら袋井市」を掲げている。</p> <p>そこで、これらの合併前、合併後の12年間を振り返り、本市のまちづくりについて伺う。</p> <p>(1) 地方の時代、地方分権のまちづくりにあたり、どのような哲学をもって、どのような姿になろうとして運営してきたか。</p> <p>(2) 新市建設計画の事業期間は延長され、31年度までになった。計画に述べられている合併の必要性、健康な市民が参加するまちづくりなど、大切な基本方針をどう総括されているか。課題は何か。</p> <p>(3) 総合計画の推進と健康文化都市の建設について 総合計画の進捗管理として23年度から政策評価を行っているが、基本計画の6政策のうちB評価が3政策、C評価が3政策である。事業の達成度は「中」ということは分かるが、健康文化都市の達成度は理解し難い。本市が目指すまちの将来像は、一貫して「健康文化都市」である。そこで、総合計画に見受けられる健康文化都市の理念、行政経営方針に照らし、次の点を伺う。</p> <p>ア 健康文化都市の建設に向け、不可欠な柱は何か。</p> <p>イ 健康文化都市を評価できる「全国住みよさランキング」「国民生活指標」、22の自治体で作成されている「幸福度指標」のような指標が構築できないか。</p>				市長

質問順序	6	議席番号	14	質問者	廣岡 英一
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<p>ウ 第1次総合計画における健康文化都市建設の達成度をどのように考えるか。また、着地点をどこに置かれていたか。</p> <p>エ 第2次総合計画の健康文化都市建設の着地点を、どこに置いているか。</p> <p>(4) 32年度からの財政運営が心配になるが、「私でなければできない施策」を掲げている市長の、来期における健康文化都市の建設への役割、思いは何か。</p> <p>(5) 議会改革を進めている袋井市議会への所感、自治基本条例制定への考えはどうか。</p>					市長
<b>2</b>	<p><b>推進中の主要プロジェクトへの事業提案</b></p> <p>本市が29年度の主要プロジェクトとしている中で、英語教育、幼小中一貫教育、まちの国際化、公民館のコミュニティセンター化に関し、次の事業化を提案する。</p> <p>(1) 小5・6年生を対象とした英語教育の中学校への乗り入れ授業の早期実施、浅羽中学校の建て替え構想にあたり、乗り入れ可能な多目的室の整備ができないか。</p> <p>.....</p> <p>(2) 30年度から公民館のコミュニティセンター化を目指している中、本市の「協働まちづくり事業」制度を一步進めた「仮称・地域創生交付金」のような制度ができないか。</p>				<p>教育長</p> <p>.....</p> <p>市長</p>

質問順序	7	議席番号	10	質問者	鈴木 弘睦
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>1</b>	<b>袋井市のみちづくり</b> (1) 都市計画決定されている未整備路線について ア 都市計画道路川井山梨線の整備に向けた状況との重要性等の評価について伺う。 イ 都市計画道路下山梨春岡線の整備区間から未整備区間の車輛等の流入状況などから、整備への評価について伺う。 (2) 周南中学校への通学路である市道下山梨下6号線、市道太田村松線の安全対策への見解を伺う。				市長
<b>2</b>	<b>企業人の活用</b> (1) 民間企業の知見や人脈などノウハウを活かした地域振興への取り組みについて ア 以前、市職員を企業等に派遣していた。この事業の成果について伺う。 イ 企業人の活用は、先進地で数々の効果を上げている。袋井市でも活用を提案するが、市としての見解を伺う。				市長
<b>3</b>	<b>自殺予防</b> (1) 袋井市における現在の相談体制について ア いつでも、どこでも、誰でも、相談できる体制づくりとして、メールを活用した仕組みづくりについて見解を伺う。 イ 現在の相談ページの周知方法としての、二次元バーコードを活用した周知の方法について伺う。 (2) 袋井市における自殺予防対策について ア 袋井市の自殺の実態をどの様に分析し把握されているのか伺う。 イ 数値目標等の設定への考えについて伺う。 ウ ゲートキーパー養成講座の実績について伺う。				市長

質問順序	7	議席番号	10	質問者	<b>鈴木 弘睦</b>	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
	エ 児童生徒に向けた学校での自殺予防教育の取り組みと、教育委員会としての支援体制について伺う。				教育長	

質問順序	8	議席番号	6	質問者	寺田 守
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	<b>久能地区の排水計画</b> 都市計画では、良好な住環境を保全する地区として用途指定（第1種低層住宅専用地域）されているが、排水機能が未整備な地域がある。排水対策についての基本的な方針と今後の見通しについて伺う。  (1) 田町幹線排水路の延長計画について伺う。				市長
2	<b>国際交流の推進</b> 市の方針の中で、各分野での国際化が課題になっている。今後の進め方と対応について伺う。  (1) 国際化に向け国際交流室が新設されるが、設置の目的と役割は何か。  (2) 市民協働課の役割に、県の地域外交局と市民をつなぐ窓口業務があるが、変更はあるのか。  (3) タイ、ベトナム人向けの観光ツアーの誘致が今後の方針に挙げられているが、事業に向けた研究、整備について伺う。				市長
3	<b>郷土愛の育成</b> 今後の教育行政の方針として、幼小中一貫教育が進められようとしている。郷土への関心や愛着を醸成する教育も重要と考えるが、現状の課題について伺う。  (1) 袋井市教育委員会発行の「わたしたちの袋井市」は、どのように活用されているのか。  (2) 郷土資料館で行われている「昔の暮らし」、また、久野城教室などの評価について伺う。  (3) 教室を支えている市民ボランティアの役割、また教員への周知、学校への支援、助成について伺う。				教育長

質問順序	9	議席番号	12	質問者	高橋 美博	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）						答弁者
1	<b>子ども医療費助成制度の拡充</b> 全国各地、県内でも子ども医療費助成制度の拡充が進んでいる。袋井市も拡充について検討すべきではないか。  (1) 現物給付に対し、国は罰則（ペナルティ）を実施している。これについての袋井市の見解はどうか。  (2) 袋井市は、中学生までの医療費の完全無料化、さらに対象を高校生まで拡大する考えはないか。				市長	
2	<b>人権問題</b> 昨年12月、国会で「部落差別解消推進法」が可決成立し、施行となった。この法は、時限の定めのない恒久法であり、部落差別を半永久的に存在させることを意味し、慎重な運用が求められる。  (1) 袋井市の同和対策事業は、基本的に完了しているとの認識でよいか。  (2) この法律により、自治体運営に再び困難を生じさせる恐れがある。明確な姿勢を求めるが、市長の見解はどうか。				市長	
3	<b>学校給食費軽減制度</b> 学校給食費は、子育て中の家庭にとって大変大きな負担となっている。この負担を軽減することは、極めて有効な少子化対策と言えるのではないか。  (1) 軽減制度を設ける自治体が増えている。この動向をどう捉えるか。  (2) 袋井市も学校給食費保護者負担軽減制度を検討すべきではないか。				教育長	
4	<b>教育問題</b> 学習指導要領が改定され、小学校が平成32年度、中学校は平成33年度から全面実施となる。文部科学省は2月14日、小中学校の次期学習指導要領の改定案を公表した。これについての教育長の見解を伺う。  (1) 新学習指導要領の枠組みを変える変更を教育長はどう捉えているか。  (2) 「主体的・対話的で深い学び」「カリキュラム・マネジメント」など新たに求められるものも多い。学校や教員の負担を軽減し、授業準備の時間などの確保、教員のスキルアップをどのように図っていくのか。  (3) 英語教科化による授業時間増への対応、専門性を持った教員の育成・確保をどのように進めていくか。				教育長	



質問順序	9	議席番号	12	質問者	高橋 美博	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一問一答》	答弁者
	(4) 「プログラミング教育」が小学校で必修化となる。「プログラミング教育」をどのように進めていくのか。				教育長	

質問順序	10	議席番号	2	質問者	岡本 幹男
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>1 防災対策について</b>	<p>防災対策は、静岡県との連携が必要な部分が多く発生する。防潮堤建設、遠州灘海岸の護岸、河川の流下対策についての3点を伺う。</p> <p>(1) 袋井市静岡モデル防潮堤整備事業は、平成28年4月の盛土工事開始以来、順調に進捗していると聞く。現段階での、第1工区から第4工区までの具体的進捗状況はどうか。また、盛土材の搬出元となっている豊沢工業団地造成工事は、当初見込みの60万m<sup>3</sup>より土の供給が多くなる見通しと聞く。予定を超過する分は、市施工の盛土工事の延長に使用するのか、それとも、県施工の植栽の盛土にするよう県と交渉するのか、方針について伺う。ダンプカーの通行により、市道東同笠油山線に道路の損傷や埋設管の損傷が見られるが、補修の見通しはどうか。</p> <p>(2) 浅羽海岸の福田港寄りの箇所は、サンドバイパスによる養浜事業の対象箇所となっている。ところが、最近、サンドバイパスの取水口付近で大規模な浚渫作業を実施したと聞くが、サンドバイパスの稼働状況はどうか。防潮堤も、砂浜の存在が大前提であり、サンドバイパスによる養浜事業のみで海岸のガードは可能か。</p> <p>(3) 河川の流下対策では、原野谷川は諸井橋の周辺で河床に樹木が繁茂し、流路が部分的に深くなり不規則な形状になっている。また、弁財天川はこれから雨量の多い時期を迎え、中流域での内水対策や河口閉塞の解消が待たれる。いずれも県の所管ではあるが、市民の不安の対象であり、袋井市からの働きかけについて伺う。</p>				市長
<b>2 高齢者福祉の推進について</b>	<p>高齢者福祉の推進について、次の3点を伺う。</p> <p>(1) 介護保険制度の改正で、平成29年4月から介護予防・日常生活総合支援事業が開始される。身体介護は不要であるが、日常の家事等が困難な高齢者に対する生活援助を内容とするA型サービスが今回新たに導入される。実施方法は事業者指定によるが、準備状況について伺う。</p> <p>(2) 同じく、うつ・閉じこもり傾向などの高齢者に対し相談指導等を行う短期集中サービス（C型サービス）も新たに導入される。実施方法は市の直接実施によるが、準備状況について伺う。</p> <p>(3) 高齢者が生活を維持する上で、不可欠なものが買い物と医療機関通いである。ところが、浅羽南部地区を例にとると、近隣に商業施設が不足していることや、国道に架かる歩道橋を高齢者が渡れない、あるいはデマンドタクシーや地域協働運行バスの利用方法に不慣れなどの問題がある。今後のこれらの問題に対する支援策について伺う。</p>				市長

質問順序	10	議席番号	2	質問者	岡本 幹男
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>3</b>	<b>障害者福祉の推進について</b> 障害者福祉の推進について次の3点を伺う。  (1) 障害者の自立のための最重要課題は仕事の確保であるが、袋井市の優先調達の現状は、近隣市に比較し十分な状況とは言えない。そこで、平成29年度の優先調達の市の方針を伺う。また、袋井市営墓地の管理に関し、新たな優先調達の方策はないか。  (2) 障害者の自立のためには住居の確保が不可欠である。袋井市のグループホームの必要数の確保について伺う。また、グループホームの運営には専門性のある世話人の確保が課題と聞く。市の主導で高校生などに向けた福祉職や福祉資格の説明セミナーを開催する考えはないか。  (3) 厚生労働省の決定では、従来の縦割り型の公的支援から丸ごとの公的支援に切り替え、「地域共生社会」を実現させることとなった。その一つの表れとして、障害者福祉サービスと介護保険事業を合わせた共生型サービスが導入される方針となった。これらの動きに対する今後の取り組み方針について伺う。				市長

質問順序	11	議席番号	19	質問者	大庭 通嘉
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	<b>水道問題について</b> 南海トラフ等の巨大地震に備えたライフライン（水道）の耐震化が急務となっている。当該事業を積極的に推進するとともに、併せて、水道事業会計の見直しについての考えを伺う。  (1) 耐震化推進に対する考え方について  ア 水道事業の老朽管更新（耐震化）2次計画の前倒しをどのように進めていくか。  イ 効果的（優先順位）、効率的な管路耐震化の計画をどのように進めるか。また、本市にとっての望ましい耐震適合率をどのように考えているか。  ウ 震災時の県水の確保について  (ア) 本市として企業局所管の管路の震災時における被害への対応と見解は。  (イ) 県に対する耐震化の要望の考え方は。  エ 耐震化事業への水道会計への一般会計からの繰り入れの考えがあるか。  (2) 耐震化に向けた水道経営の見直し、改善について  ア 遠州水道の契約水量41,200m <sup>3</sup> に問題は。  イ 自己水源（井戸水）と遠州水道のトータル適正量とは。  ウ 遠州水道の受水費引き下げに向けた取り組みは。				市長
2	<b>健康保健事業について</b> 平成24年、胃がん撲滅に向け提案した胃がんリスク検診（ABC検診）が平成25年度から導入された。その後の本市の成果と今後の展開を伺う。  (1) 平成25年度～27年度における受診状況は。 対象者・受診人数・判定結果・除菌率等  (2) 精密検査・除菌の必要な人へのアプローチは。				市長

質問順序	11	議席番号	19	質問者	<b>大庭 通嘉</b>
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<p>（3）リスク検診（ABC検診）の予防効果（成果）は。</p> <p>（4）リスク検診（ABC検診）の今後の展開は。</p>					市長